

カテゴリー 自然の循環
 番号 C-02
 催行期間 11月～4月
 所要時間 6時間
 キーワード 環境整備
 生物多様性

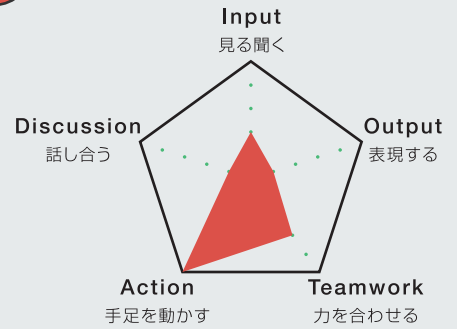
火防線トレイルプロジェクト



トレイルロードを歩く参加者



学びのポイント



力を合わせて火防線を整備し、チームワークを養う。また、山の生態系について学ぶ



トレイルロードの整備を行う参加者



トレイルロードからの展望



レクチャーを行う講師



概要

トレイルロードを整備し、イヌワシの住む里を取り戻します

みんなで力を合わせて、昔の火防線をトレイルロードとして整備するプログラムです。火防線とは、昔山火事の延焼を防ぐために、山の尾根沿いに幅10m程草木を刈り取った場所です。かつては、そこが原っぱとなり、野ウサギ等小動物の生息地となり、またそれを餌とするイヌワシ

が飛来する場所にもなっていました。トレイルロードの整備は、生物多様性を守る環境整備にもなり、その見事な眺望は観光資源にもなるでしょう。最後に、トレイルロードを切り開いた証として記念のプレートを立てて、この地に残していきます。



タイムスケジュール

0:00 ~ 1:00	レクチャー 「なぜ火防線トレイルなのか？ 一山の生物多様性について」
1:00 ~ 1:30	移動、作業の説明
1:30 ~ 3:00	火防線整備
3:00 ~ 4:00	食事（お弁当）
4:00 ~ 6:00	火防線整備・記念プレート設置



インフォメーション

所要時間	6時間
催行期間	11月～4月
最少催行人数	10名
最大人数	25名
フィールド	入谷地区
持ち物	作業着（長袖、長ズボン）、 動きやすい靴（長靴など）、 軍手、帽子、飲み物



講師紹介



© Masahiro Kawatei

やまさございん、ネイチャーセンター友の会会長
鈴木卓也

1971年、南三陸町（旧志津川町）清水浜生まれ。岩手大学人文社会科学部卒。1996年から2007年まで志津川町役場（合併後は南三陸町役場）に文化財保護担当として勤務。退職後、母の生家を改装した「農漁家民宿かくれ里」を管理していたが、東日本大震災により流失したため、現在は野鳥などの環境調査業を行う個人事業主として生活。南三陸ネイチャーセンター友の会会長、南三陸ふるさと研究会及びワシタカ研究会事務局。「やまさございん」メンバー。

留意事項

- 危険を伴う作業であり、また山の上は見通しが悪いので、参加者5名につき1人の講師・スタッフがつかまいます。
- ヘルメットと手ノコやカマ、枝きりばさみ等を貸出します。
- お弁当は別料金になります。
- 火防線の場所までは車での移動を伴います。
- 冬季は雪が積もっている場合もあります。防水性のある服と靴をご用意ください。